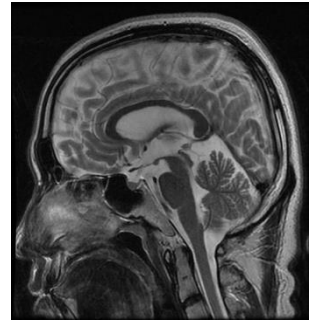
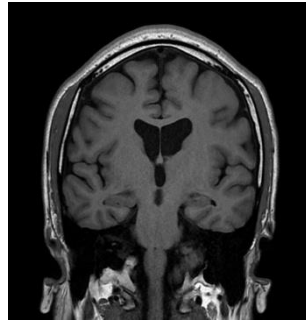
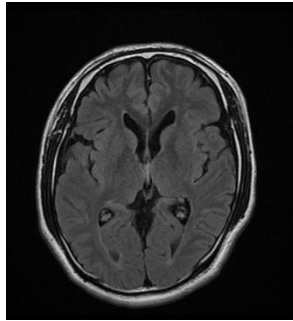
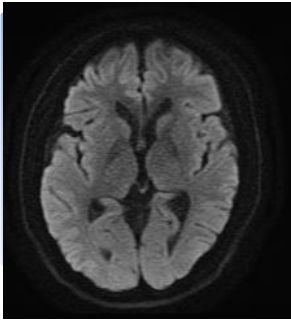


## 頭部領域

頭部を頭頸部専用のアンテナ(鳥かごのような形)に収めて、機械の中に入っていきます。このアンテナをコイルと言います。

脳梗塞や微細な脳出血などの脳病変について検査します。

特に急性期脳梗塞の検出に優れ、CTでは所見として現れない発症1～数時間の脳梗塞が描出できます。



## 胸部(乳腺)領域

MRIにおける乳腺撮影では、乳房位置にふたつの穴が開いているコイルの上に腹ばいで寝ていただきます。造影剤を注入しながら連続撮影を行い、造影剤が取り込まれる時間や範囲を観察します。

術前精査として重要な検査です。両側同時撮影が可能で、乳房全体を検査できます。

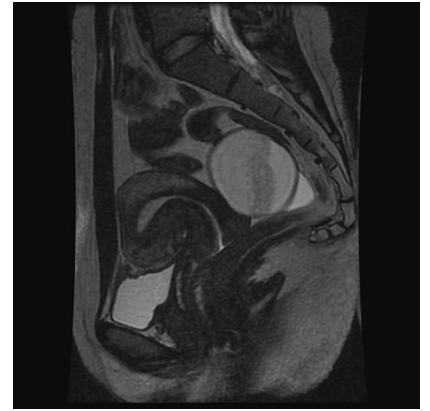
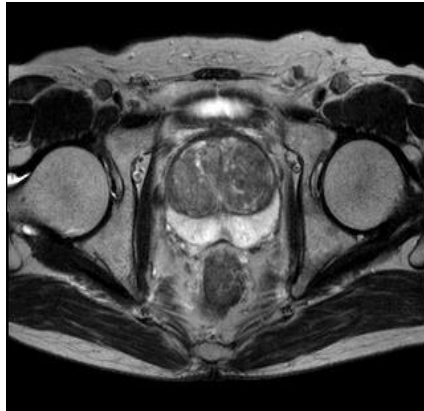
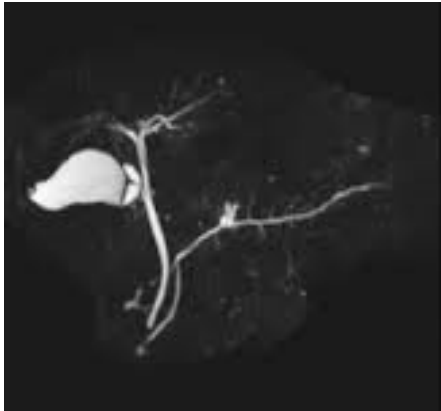
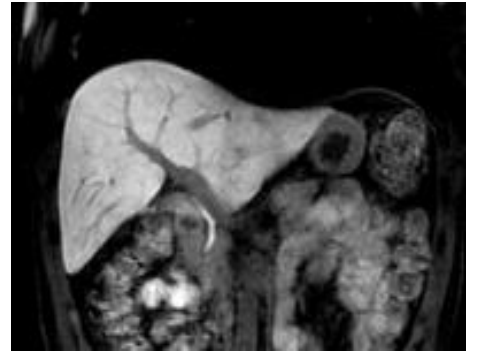
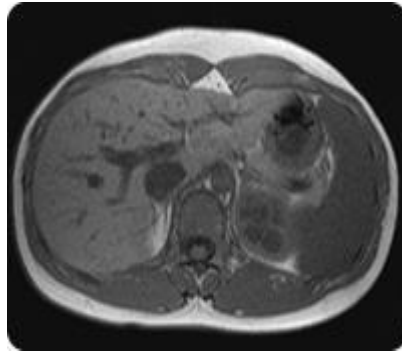
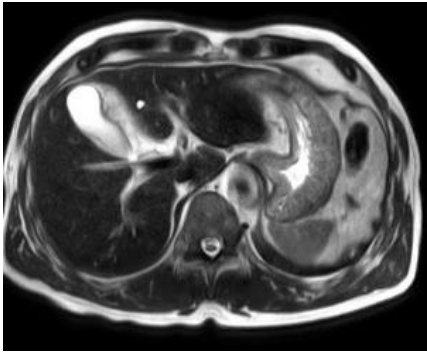


## 腹部・骨盤部領域

腹腔内臓器の腫瘍やその他の病変について検査します。肝臓専用の造影剤を用いた検査や、水分からの信号を強調した画像を撮像することで胆石の有無、胆管や膵管の拡張および狭窄などを描出します。

上腹部の撮影は息止めの検査になる場合があります15～20秒の息止めを繰り返して撮影します。

また、子宮・卵巣・前立腺の精査なども数多く行っています。



## 整形外科領域

整形外科領域の四肢の腫瘍やその他病変、脊髄や椎間板の状態について検査をします。肩、手関節の周囲炎や膝の靭帯損傷、椎間板ヘルニアによる脊椎神経の圧迫の程度や、脊椎圧迫骨折や変性疾患などの検査にも用いられています。撮影部位によって選択されるコイルが変わり、その部分に直接巻きつけるような形状のコイルを使用します。



## 血管領域

血管の検査では、頭頸部に加え、腎臓や下肢領域においても、造影剤を用いずに、血流の流れの信号を利用して血管を立体的に描出できます。

頭部は、簡単な方法で検査が可能なのでルーチン検査として、また脳ドックの項目にも含まれます。くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤の検索に効果的です。

また、造影剤を用いて血管の検索も行います。

血管の狭窄や塞栓、動脈瘤や解離、また動静脈奇形等の検査に用いられます。

